

まわしよみ新聞

切って、貼って、話し合う

「まわしよみ新聞」は、4、5人で作ります。新聞以外に必要なのは、はさみ、のり、カラーペン、模造紙。約1時間半で完成させます。



① お気に入りの記事を選ぶ  
まずは持ち寄った新聞を読み、興味を引かれた記事を切り抜きましょう。時間は15〜20分で、ノルマは3枚以上です。記事以外にも、写真や広告、4コマ漫画など、新聞に



② 感想を「プレゼン」

次は一人1枚ずつ、順番に切り抜いた記事について発表します。発表する人は、切り抜きをグループのメンバーに見せ、その内容と切り抜いた理由を説明します。他

のメンバーは質問や感じたことなどを自由に発言し、全員で楽しく語り合ってください。制限時間30分で、切り抜いた3枚を出し終えるまで発表を続けてください。



③ 自由にレイアウト  
最後は、紹介した記事をまとめて模造紙に貼り、壁新聞を作ります。時間は30〜40分。模造紙に題字(新聞の名前)や日時、場所、メンバーの名前を書き込み、盛り上がった順番に記事を貼り付けていきましょう。一言、コメントを書き込むのも忘れずに。カラーペンを使ってイラストなども添えると楽しい新聞になります。

川崎医療福祉大でも取り組みました

しっかり読めて勉強に

医療技術学部3、4年生約20人が4、5人のグループに分かれ、新聞から記事を切り抜き、内容を発表し合い、壁新聞を作りました。西日本豪雨の記事が思いのこもったコメントを添えて紹介されたほか、「さまぐれ新聞」や「ストレス社会を生き抜く新聞」といったユニークなタイトルの新聞には、サッカーや木下大サーカスなどの楽しい記事が貼り付けられていました。

参加した大学生からは「新聞をしっかりと読み込めて勉強になった」「友達の間で意外な一面が見えた」「またやってみよう」といった感想が相次ぎました。まわしよみ新聞を企画した北澤正志講師は「今後も定期的に開催して、学生が社会を知ることにつなげたい」と話していました。

この記事いいね



目を引く紙面にしよう